

LED表示板設置の社会実験

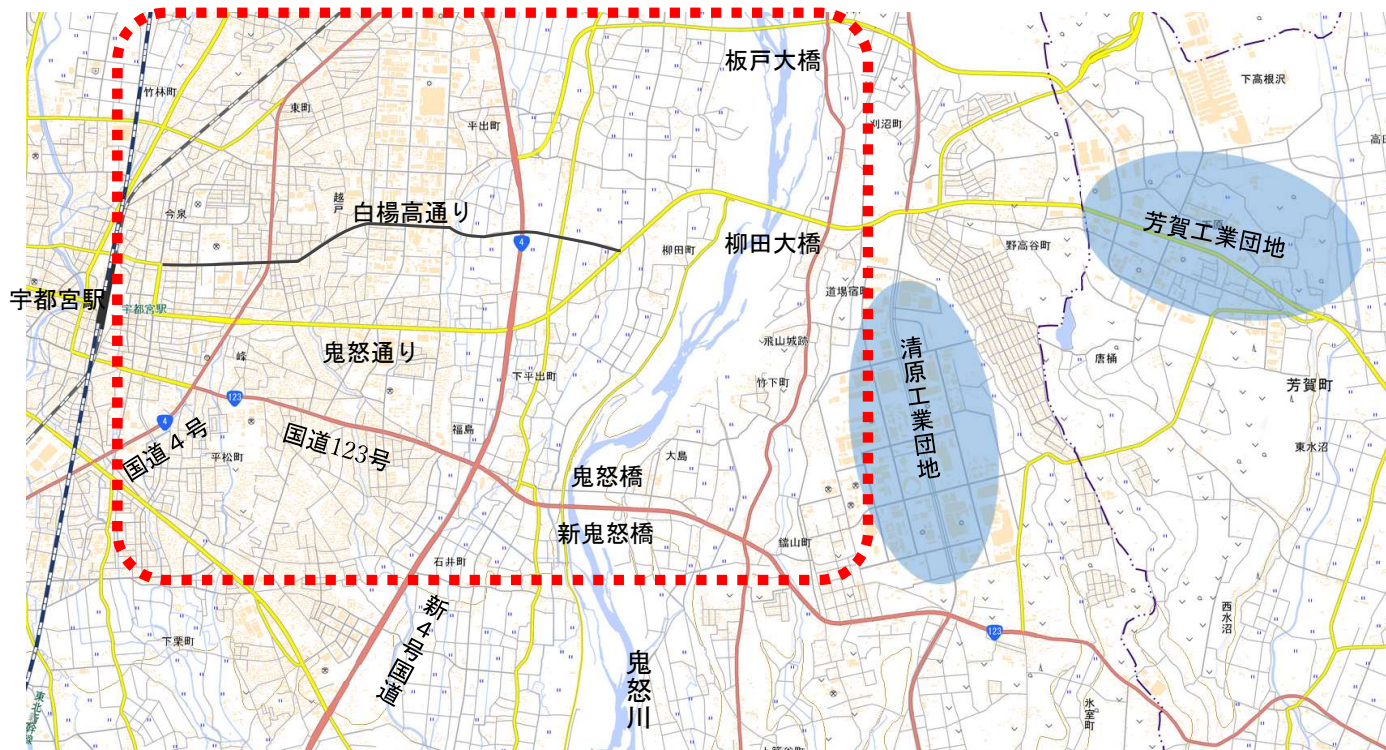
社会実験に関するアンケート結果等について

社会実験におけるアンケート

- LED表示板設置の効果について確認するため、令和5(2023)年の社会実験実施前後で工業団地従業員を対象にアンケートを実施。

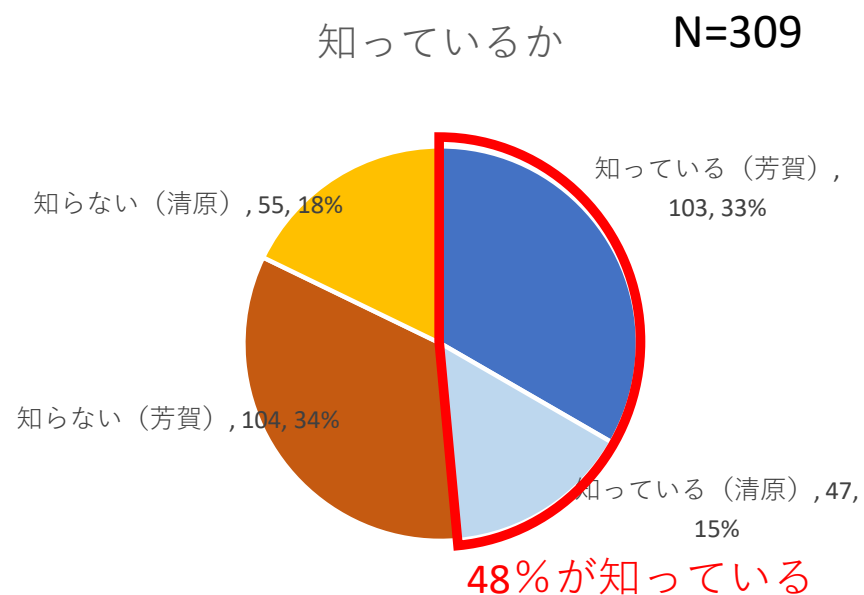
対象者	清原工業団地及び芳賀工業団地の従業員
実施方法	QRコードの配布によるWebアンケートでの回答
収集期間	【社会実験後】 清原、芳賀：R6.1.29～R6.2.20 【社会実験前】 清原：R5.8.17～R5.8.31 芳賀：R5.8.4～R5.8.25
回答者数	【社会実験後】 清原：153票、芳賀：336票 【社会実験前】 清原：170票、芳賀：53票

地図上の赤点線枠内を通勤で通過している従業員個人宛てに依頼

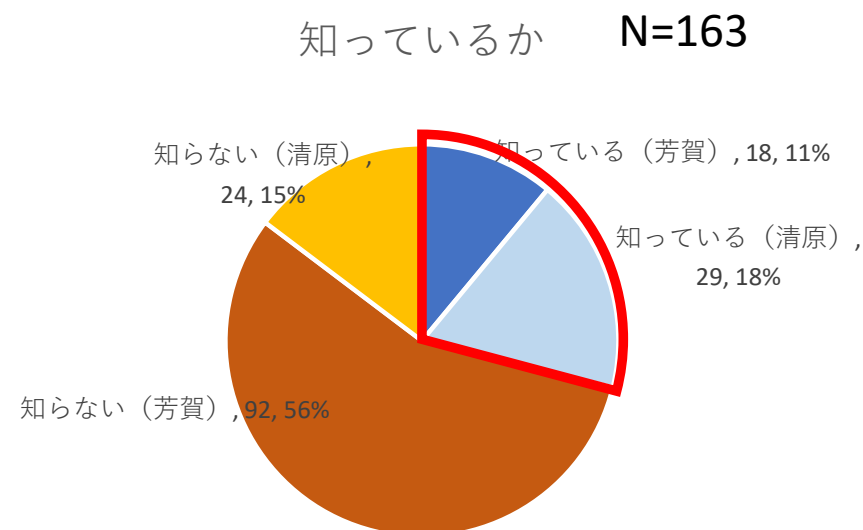


質問. LED表示板による迂回案内を行う社会実験を、令和5年12月4日（月）から令和6年2月29日（木）まで実施しております。この取り組みについて知っていますか。

【社会実験後】



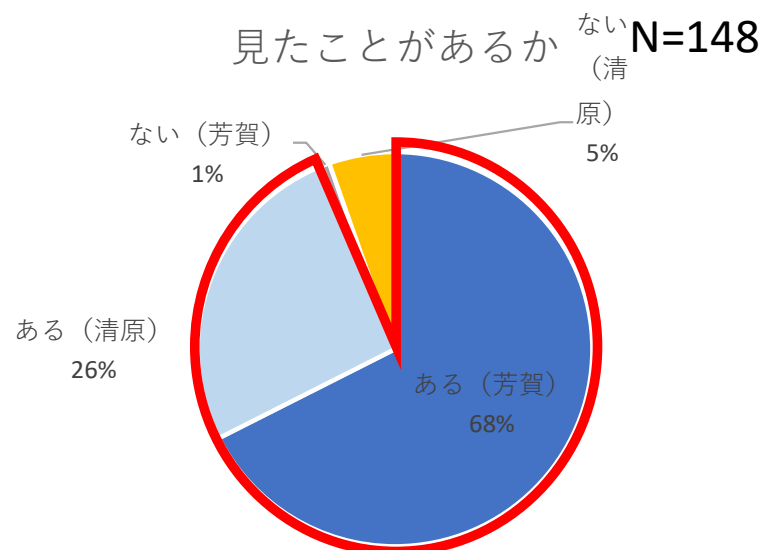
【社会実験前】



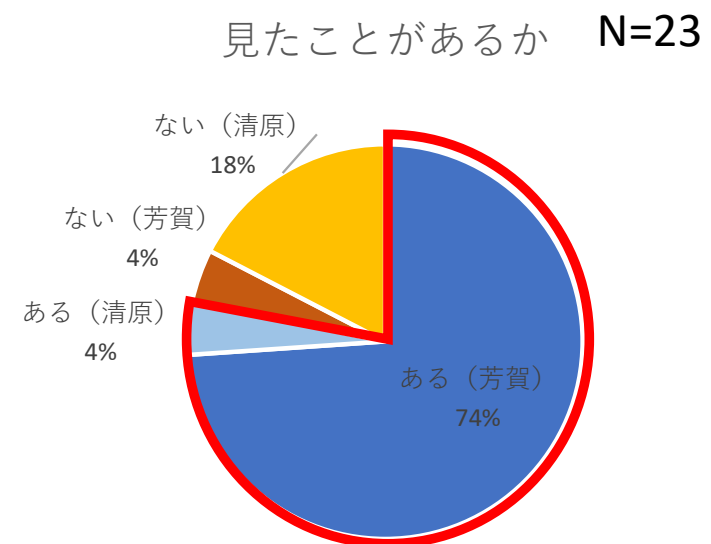
事前周知を行った結果（改善①、改善①プラス）、
社会実験の認知度は向上

質問. 現地に設置していたLED表示板を見たことはありますか。

【社会実験後】



【社会実験前】



94%が見たことがある

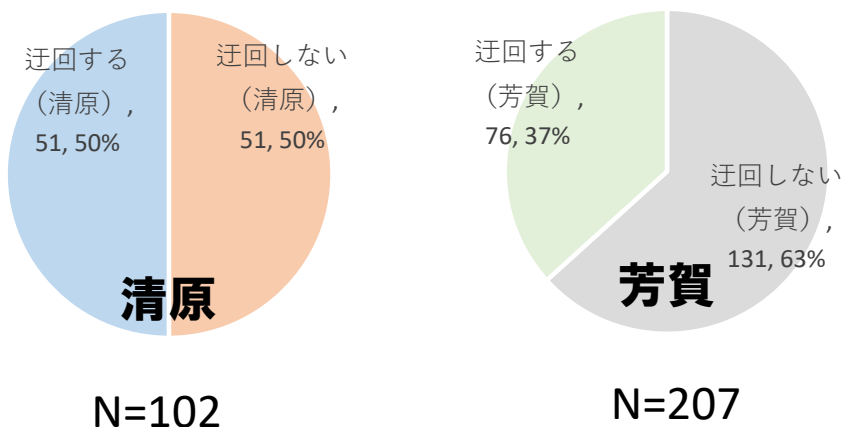
事前周知を行った結果（改善①、改善①プラス）、
社会実験の認知度は向上

社会実験におけるアンケート

質問. 自家用車での通勤状況についてお伺いします。
日常の通勤路が渋滞している場合、道路状況に応じて迂回することがありますか？

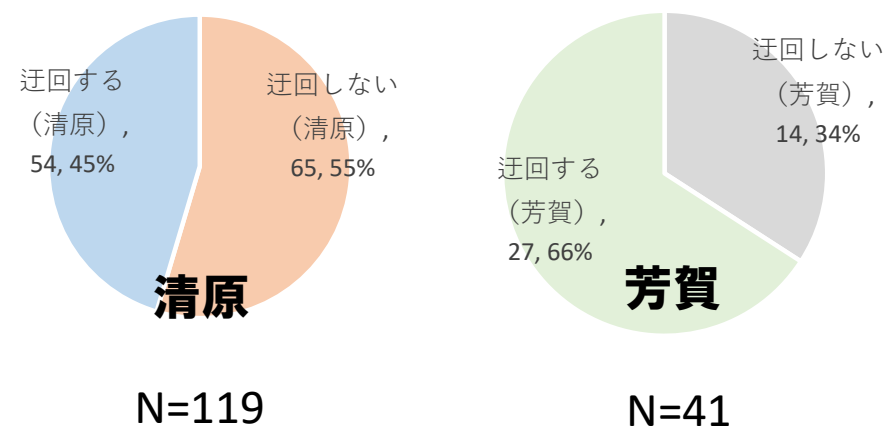
【社会実験後】

迂回することがあるか



【社会実験前】

迂回することがあるか



清原地区では、
渋滞している場合に迂回する人の割合が増加
芳賀地区では (実験前後での回答数に差があるが...)
渋滞している場合に迂回する人の割合が減少

推測!

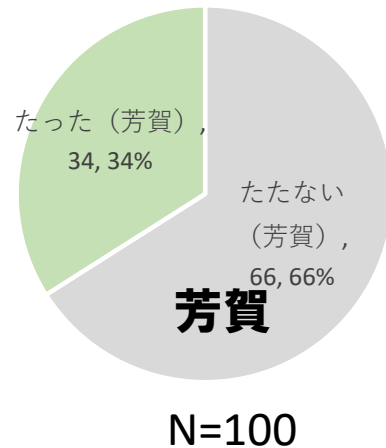
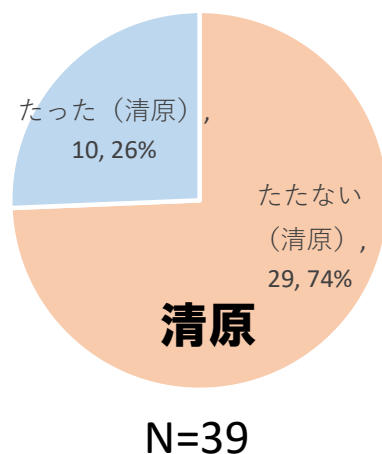
迂回する意向が強い地区を
対象とすると、より効果的
なのでは...

社会実験におけるアンケート

質問. LED表示板の情報は役立ちましたか。

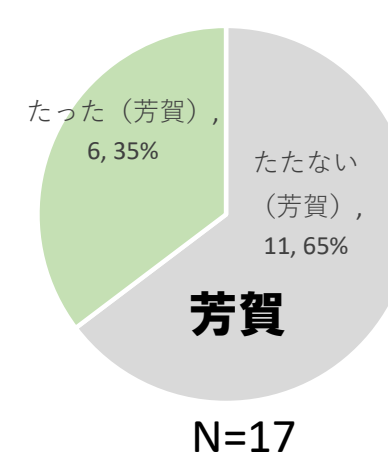
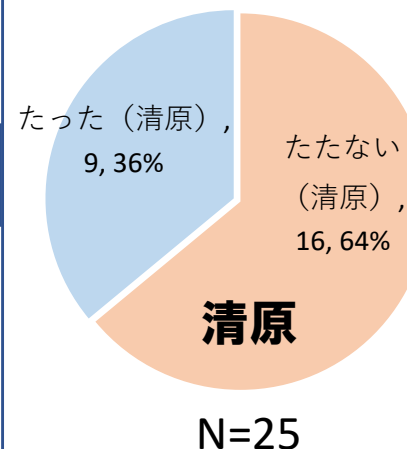
【社会実験後】

役にたったか



【社会実験前】

役にたったか



清原地区では、

役に立ったと回答する人の割合が減少

芳賀地区では (実験前後での回答数に差があるが…)

役に立った、たたないと回答する割合は同等

何に役に立ったか (自由意見) : 目安時間が分かり落ち着いて行動できた。

迂回して渋滞回避ができた。

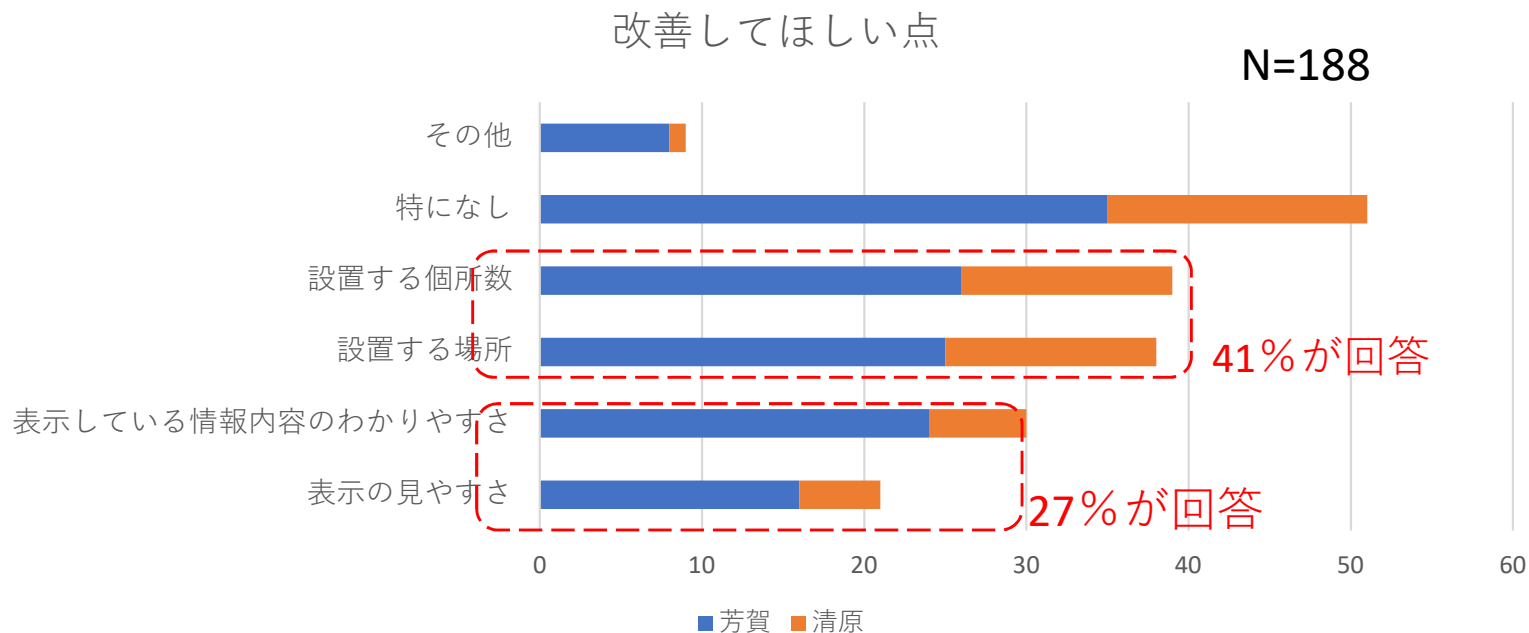
多少の差ならそのまま鬼怒通りを進むことにしている

推測!

混んでいない時間帯では、LED表示する通過時間に「差がない」ためか…

質問. LED表示板に改善してほしい点はありませんか。(複数回答可)

【社会実験後】

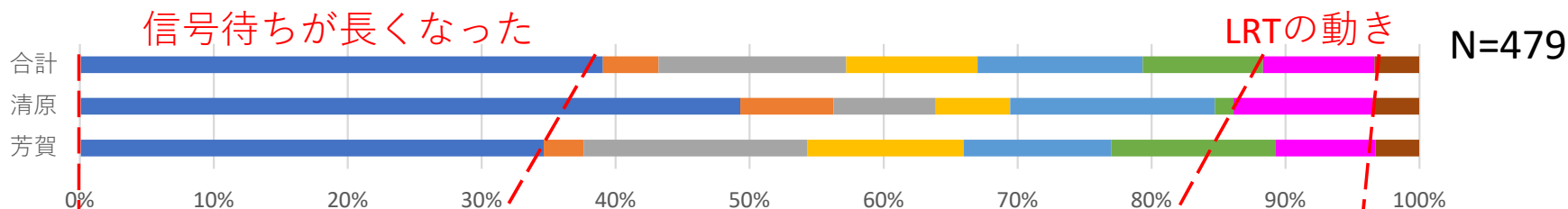


表示板の**設置方法**や、**表示方法**に関して、
改善の要望は実験後も以前高い。

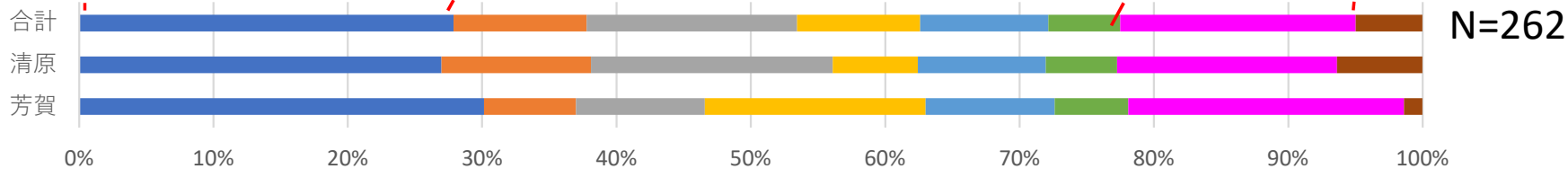
質問. 運転中に不安を感じるのどのような点ですか。(最大2点まで回答)

【社会実験後】

運転中に不安を感じるのどのような点か



【社会実験前】



- 信号待ちが長くなった
- 交差点通過時のタイミングが分からない
- 他の自動車の動き
- バイクの動き
- 自転車の動き
- 歩行者の動き
- LRTの動き
- その他

推測!

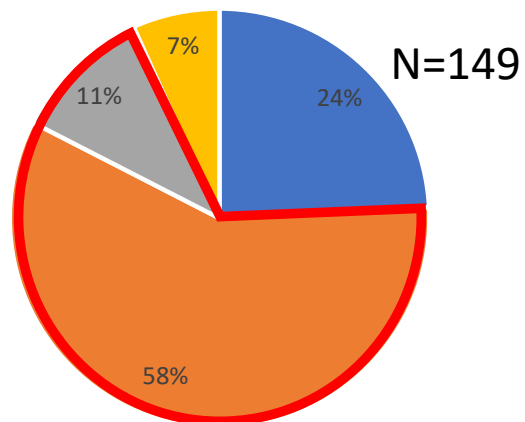
LRTに慣れることで、
今後もLRTの動きに対する
不安は減るのでは...

LRTの開業前後（社会実験前後）では、
信号待ちが長くなることへの不安が増加し、
運転中のLRTの動きに関する不安は減ったとの傾向が見られた。

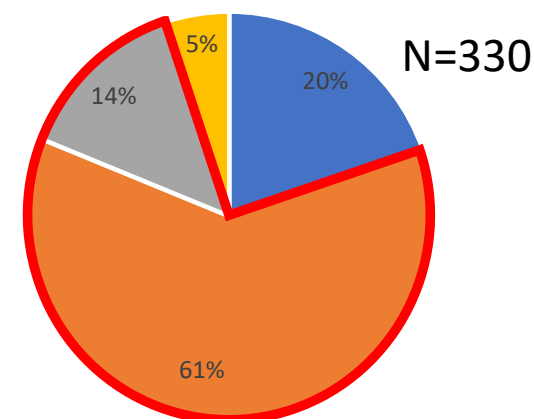
質問. LRT導入に伴う通勤経路への影響を感じていますか。

【社会実験後】

清原工業団地通勤者



芳賀工業団地通勤者



■ 以前より混雑するようになった ■ 以前と混雑度は変わらない ■ 以前より混雑が緩和された ■ その他

73%の回答者が
以前と混雑度は変わらない、
以前より混雑が緩和されたと回答

考察

- SNS等を活用して事前周知を行うことで社会実験の認知度は向上する
- 渋滞を回避するために迂回する意向は、移動の経路との関連性が強いと推測
- 表示板の情報が役にたつと捉えられない理由は、表示時間に差が小さかった（5分以上の差がある表示の割合は17.8%）ためと推測
- 想定していたLRTの動きに関する不安は、慣れることで解消していくと推測

さらなる効果を得るための課題

- 更なる事前周知方法の検討
- 事前に移動の経路を把握し、ターゲットを明確化する必要
- 旅行速度の差が一定程度ある場合がより効果的
- 信号の待ち時間に関する不安が解消する方策を交通管理者とともに検討